

住宅用地中熱ヒートポンプ実証試験検証業務委託

公募プロポーザル公告

下記の委託について、下記のとおり公募プロポーザルを行うので公告します。

令和元年7月3日

埼玉県知事 上田 清司

1 事業の目的

地中熱は再生可能エネルギーのうち太陽光に次いで本県での利活用が期待できるが、導入コスト（特に掘削費用）が高額であること、導入事例が少なく県内の気候における省エネルギー効果が明らかでないことなどから、住宅用地中熱利用の普及が進んでいない。

そこで、昨年度設置した5か所の住宅用地中熱ヒートポンプ実証設備（以下「実証設備」という。）の運転により得られる各モニタリングデータを収集、整理、解析することにより、県内の住宅に地中熱ヒートポンプを導入した場合の省エネルギー効果を明らかにする。

また、熱交換井（深度100m）及びその周囲に設置した観測井（深度40m）における深度5m毎の温度データや地質情報等の解析を通じて、熱交換が効率的に行える深度を把握することで導入コスト削減の可能性を探る。

2 委託業務の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 委託名 | 住宅用地中熱ヒートポンプ実証試験検証業務委託 |
| (2) 実施主体 | 埼玉県 |
| (3) 履行期限 | 令和2年3月19日（木） |
| (4) 委託業務内容 | 別添「住宅用地中熱ヒートポンプ実証試験検証業務委託仕様書」のとおり。 |
| (5) 予算額 | <u>8,985,000円（税込）</u>
（本契約においては、消費税及び地方消費税の合計税率10%を適用する） |

3 その他の事項

受託者の選定等に関するその他の事項については、「住宅用地中熱ヒートポンプ実証試験検証業務委託公募プロポーザル実施要領」による。